DISK SYSTEM
ファミリー コンピュータ ディスク システム

TKS-FC0

ファミリーコンポーザー

東京書籍

このたびは，「ファミリーコンポーザー」をお買い上げいただき，誠にありがとうございました。
「ファミリーコンポーザー」は初心者にはあくまでやさしく，プロの要求にもバッチリ応える，画期的な作曲ソフトです。あなたのオリジナル・サウンドがファミコンから美しい音楽となって流れる！この感動をたっぷりと味わっていただけるはずです!!

ご使用の前に，取扱いかた，使用上の注意等，この「取扱説明書」をよくお読みいただき，正しい使用法で，ご愛用ください。
なお，この「取扱説明書」は大切に保管してください。

ファミリーコンポーザー

目次

ディスクカードのセット —— 4

作曲講座

初級編／リアルタイム入力モード —— 5

中級編／グラフ入力モード —— 15

上級編／コード入力モード —— 20

作曲に役立つ表示や機能 —— 22

グラフィックプレイヤーで楽しもう！ —— 23

曲のセーブ／ロード —— 24

特別実躍講座「ねこふんじゃった！変奏曲」 —— 26

これだけは覚えてほしい注意事項 —— 28

ディスクカードのセット

●まず，ファミコン本体とRAMアダプタ，ディスクシステムを正しく接続して，本体のPOWERをONにします。右のようなタイトル画面が出たら，ディスクカードをSIDEAを上にしてセットします。もし画面がちゃんと出ないときは，接続をよく確かめて，もう一度最初からやり直してください。

●"NOW LOADING"という表示が画面中央に出たあと，しばらくすると右の画面が出ます。そして，タイトル画面が出れば，OK!!　もしも，この2つの画面が出ないで，"ビービーッ"と音がしたら，異状が起きた合図です。そのときはディスクドライブの赤ランプが消えてから，ディスクカードを取り出し，30ページを見て原因を調べて，もう一度やり直してみましょう。

作曲講座★初級編★リアルタイム入力モード

(リアルタイム入力モードで作曲してみよう！)

とにかく簡単に，オリジナルサウンドを作曲できちゃうのが〝リアルタイム入力モード〟。ここで「ファミリーコンポーザー」の基本操作も覚えてしまいましょう！

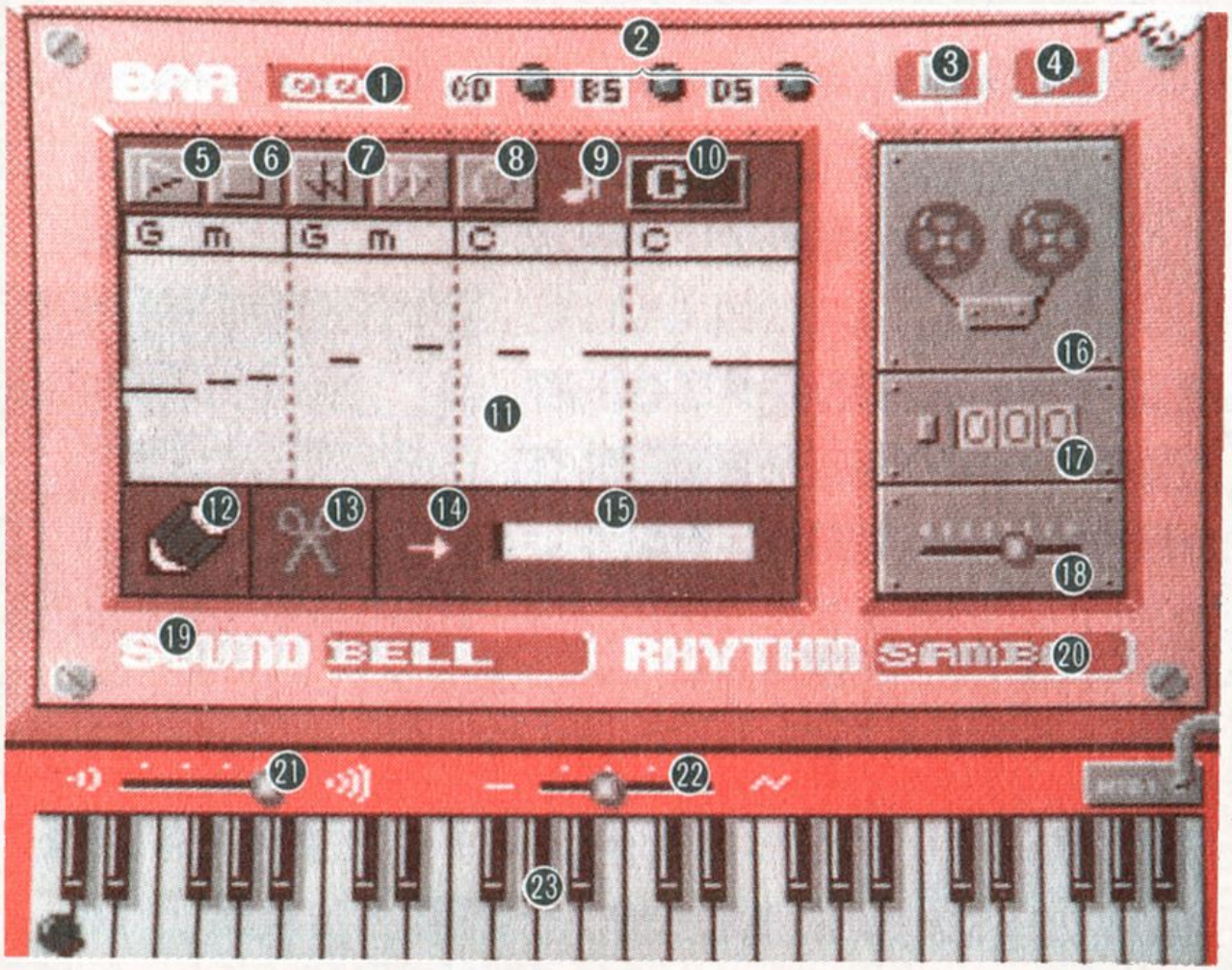
(コンポーザー画面への切りかえ)

右のタイトル画面のメニューから，1.COMPOSERを選びます。✚ボタンの上下で ☜ を動かし，(スタート)を押すと，〝Bメンヲ　セット　シテクダサイ〟と表示されるので，ディスクカードを取り出し，SIDE Bを上にしてセットします。画面は，〝シバラク　オマチクダサイ〟と表示された後，コンポーザー画面に切りかわります。

注意

ソフトを起動後，メニュー画面のままにしておくと，自動的にデモ演奏が始まるので，リセットボタンを押して，メニュー画面にもどしてください。

（コンポーザー画面）



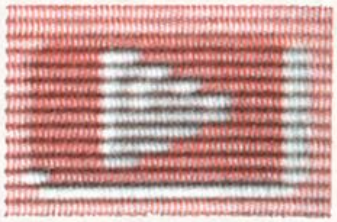
コンポーザー画面で，各スイッチのON/OFFや設定の変更をするためには，✚ボタンで ☜ を移動してⒶまたはⒷボタンを押します。

❶小節カウンター（➡22ページ）
❷伴奏パートスイッチ（➡13ページ）
❸メニュースイッチ（➡22ページ）…メニュー画面への切りかえスイッチ
❹リズムスイッチ（➡8ページ）…リズム画面への切りかえスイッチ
❺再生ボタン（➡11ページ）
❻ストップボタン（➡11ページ）
❼早送り／巻戻しボタン（➡10ページ）
❽レコーディングボタン（➡9ページ）
❾音長スイッチ（➡17ページ）
❿音名表示盤（➡22ページ）
⓫メロディーグラフ（➡15ページ）
⓬グラフ入力スイッチ（➡15ページ）
⓭コピースイッチ（➡19ページ）
⓮スケールスイッチ（➡18ページ）
⓯現在位置表示盤（➡22ページ）
⓰テープレコーダー（➡22ページ）…五線譜表示盤に切りかえることができる。
⓱テープカウンター（➡10ページ）
⓲テンポ調整スイッチ（➡13ページ）
⓳サウンド表示（➡14ページ）
⓴リズム表示（➡14ページ）
㉑音量調整スイッチ（➡13ページ）
㉒ビブラート調整スイッチ（➡13ページ）
㉓キーボード…作曲・再生中の音を●で表示。

(伴奏のリズムを選ぼう！)

〝リアルタイム入力モード〟で作曲をするには，まず，伴奏となるリズムの種類を選びます。

☜をリズムスイッチに動かし，Ⓐボタンを押すと，画面がスクロールし，〝リズム画面〟が表示されます。



リズムスイッチ

この画面で伴奏のリズムを選ぶことができます。✚ボタンで好きなリズムに☜を動かし，Ⓐボタンを押すと，＊マークが移動し，選んだリズムが演奏されます。リズムが決まったら，(セレクト)を押すと，コンポーザー画面にもどります。

リズム画面

このリズム画面でリズムを設定すると，リズムごとに予め決められた伴奏のコード進行とメロディーの音階(スケール)がセットされ，絶対に音がはずれずに作曲できるようになります。スケールやコードの設定を変えずにリズムを変える方法は14ページを見て下さい。

(リアルタイム入力モードでの作曲)

☜ をレコーディングボタンに移動して，Ⓐボタンを押すと，伴奏が始まります。これに合わせてメロディーを作曲してみましょう。

メロディーの作曲は，Ⓐボタンと✚ボタンを操作して，メロディーを演奏することによって行います。メロディーを演奏すると，メロディーグラフにグラフが表示され，キーボード上の●が動きます。

演奏方法

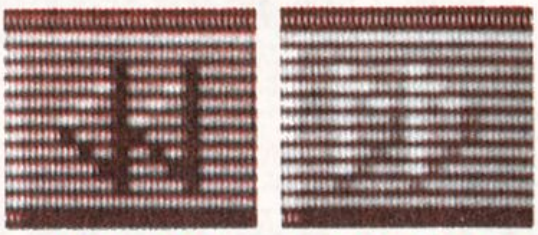
- Ⓐボタン……押すと音が鳴ります。
- ✚の左右……右は高音，左は低音へ，連続的に音程が変化します。
- ✚の上下……１回押すごとに，上は高音，下は低音に，音程が１つずつ動きます。

作曲を終わらせるには，(スタート) ボタンを押してください。伴奏が止まり，グラフの表示は，作曲を始めた小節にもどりましたね。

(曲のサーチと再生)

では，いま作曲した曲を再生してみることにしましょう。

再生は，メロディーグラフに表示されている小節から始めることができます。ここで，曲のある部分を呼び出す，サーチをしてみましょう。サーチは，早送りボタンまたは巻戻しボタンに ☜ を移動し，Ⓐ，Ⓑボタンで行います。



巻戻しボタン　早送りボタン

サーチ方法

- Ⓐボタン（低速サーチ）
  16分音符単位でサーチをする。
- Ⓑボタン（中速サーチ）
  2分音符単位でサーチをする。
- Ⓐボタン＋Ⓑボタン（高速サーチ）
  8小節単位でサーチをする。

その他に，一気に曲の先頭をサーチする方法としては，テープカウンターへ ☜ を移動し，Ⓐボタンを押す，という方法もあります。

再生にも次の2種類のやり方があります。

再生方法

①再生ボタン(▷)に ☜ を移動し，Ⓐまたは Ⓑボタンで再生開始。ストップボタン(□)で再生ストップ。
再生中，楽譜は自動スクロールし，演奏されているところが表示され，再生をストップすると楽譜表示は，ストップしたところで止まる。

②(スタート)ボタンで再生が開始され，もう一度，(スタート)ボタンで再生ストップ。再生中，楽譜スクロールは行われない。

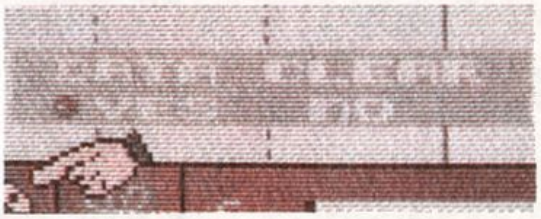
※再生ボタンによる再生は，作曲した曲全体の調整に，(スタート)ボタンによる再生は，作曲中の部分再生(モニター）のときに使うと便利です。

(メロディーの修正)

作曲したメロディーは，もう一度リアルタイム入力モードをスタートすることで，メロディーグラフに表示された小節から修正することができます。

①全てのメロディーを消したい場合
(セレクト)ボタン＋Ⓑボタンを同時に押してください。

すると画面に右のように表示されるので，メロディーを消すときにはⒶボタンを，消さないときには✚ボタンで●を“NO”に移動してⒶボタンを押します。

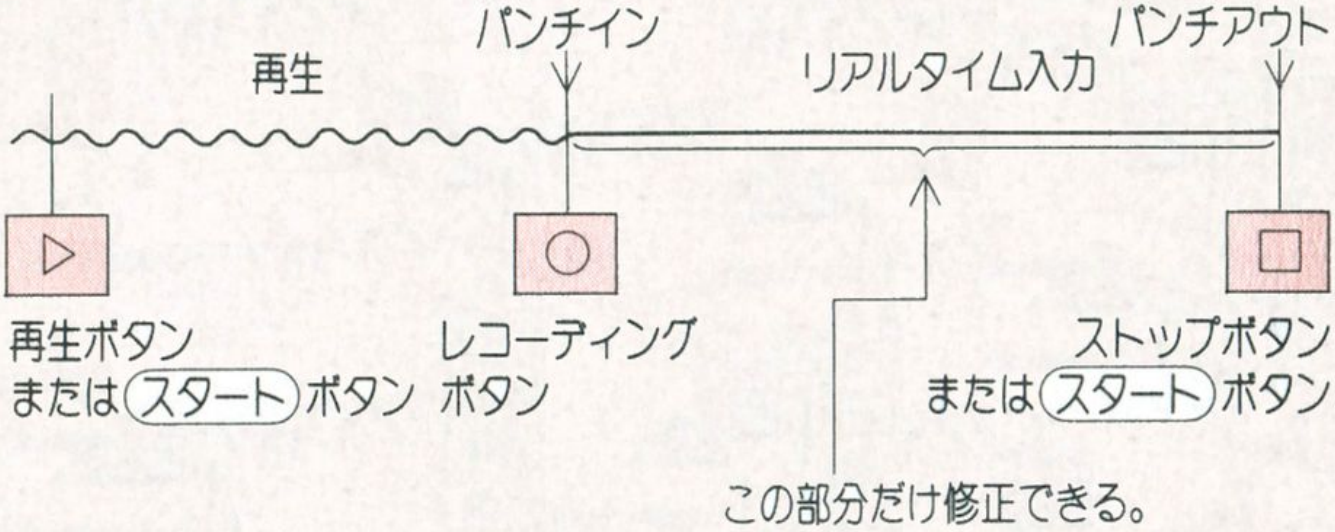


②曲の途中からメロディーを修正するとき

メロディーを修正したい小節をサーチにより呼び出し，レコーディングスイッチに ☜ を合わせてⒶボタンを押します。

③パンチイン・パンチアウト

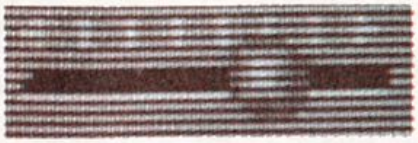
次のようにして，すでに作曲したメロディーの一部分だけを修正することができます。



(テンポ・音量・ビブラートの変更)

テンポ・音量・ビブラートの変更は，それぞれの調整スイッチに ☜ を移動し，Ⓐボタンでスイッチを右へ，Ⓑボタンでスイッチを左へ動かして調整します。

テンポ調整スイッチ

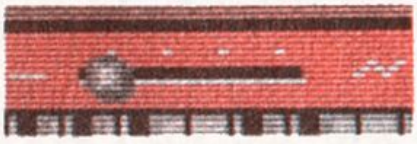


遅← →早

音量調整スイッチ

小← →大

ビブラート調整スイッチ



弱← →強

これらの変更は，再生中にもできるので，作曲した曲を再生演奏させながら，各スイッチを動かしてみましょう。

(伴奏パートのON／OFF)

レコーディング中，または再生中に演奏される伴奏音の種類は，伴奏パートのON／OFFスイッチで調整することができます。スイッチのON／OFFは，各スイッチに ☜ を移動し，Ⓐボタンで行います。●が青のときはON，黒のときはOFFの状態です。

例えば，伴奏パートスイッチを，左から黒 黒 青，つまりドラムだけONにして，曲を再生してみましょう。伴奏がドラム音だけになりましたね。

伴奏パートスイッチ

コード ベース ドラム

(メロディー音色の変更)

「ファミリーコンポーザー」では，メロディーの音色が14種類用意されています。音色の変更は，サウンド表示(SOUND)に ☜ を移動し，Ⓐ・Ⓑボタンで行います。

Ⓑボタン ↑ ↓ Ⓐボタン

1.PIANO1—ピアノ1	8.BRASS—ブラス
2.PIANO2—ピアノ2	9.STRING—ストリングス
3.ORGAN—オルガン	9.BELL—ベル
4.P.ORG—パイプオルガン	11.BANJO—バンジョー
5.HRPSC—ハープシコード	12.HARMON—ハーモニカ
6.OBOE—オーボエ	13.ACORD—アコーディオン
7.CLARIN—クラリネット	14.FUE—笛

(伴奏のリズムの変更)

コンポーザー画面でリズムを変更すると，伴奏のコードやスケールの設定を全く変えずに，1つの曲をいろいろなリズムで楽しむことができます。リズムの変更はリズム表示に ☜ を移動し，Ⓐ・Ⓑボタンで行います。

Ⓑボタン ↑ ↑ Ⓐボタン

1.ROCK1—ロック1	9.JAZZ—ジャズ	17.ENKA1—演歌1
2.ROCK2—ロック2	10.C&W—カントリー&ウェスタン	18.ENKA2—演歌2
3.BOGGIE—ブギウギ	11.WALTZ1—ワルツ1	19.BOSSA—ボサノバ
4.POPS1—ポップス1	12.WALTZ2—ワルツ2	20.SAMBA—サンバ
5.POPS2—ポップス2	13.KANON—カノン	21.REGGAE—レゲエ
6.DISCO—ディスコ	14.FOLK1—フォーク1	22.TANGO—タンゴ
7.R&B—リズム&ブルース	15.FOLK2—フォーク2	23.SPAIN1—スパニッシュ1
8.FUSION—フュージョン	16.FOLK3—フォーク3	24.SPAIN2—スパニッシュ2

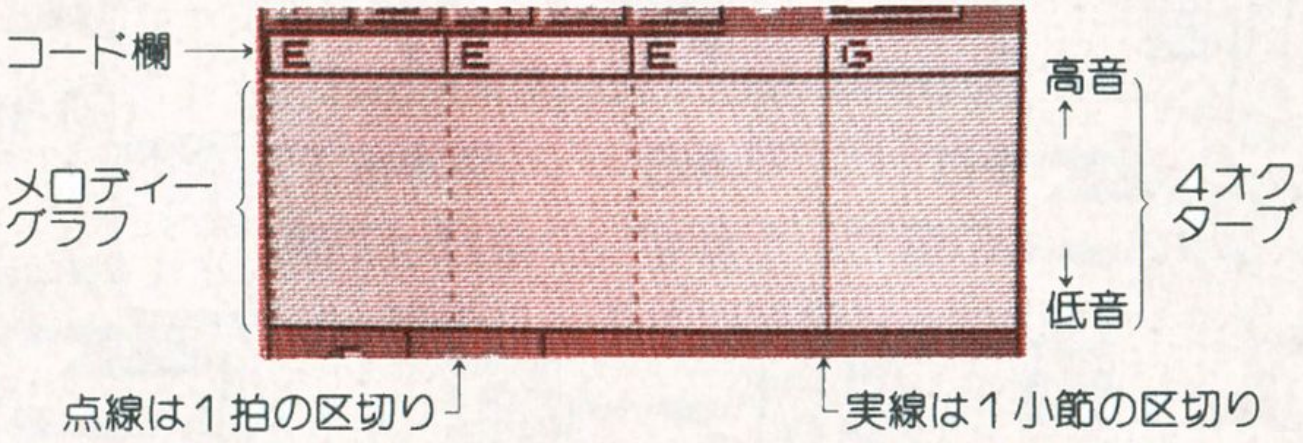
作曲講座★中級編★　グラフ入力モード

(グラフ入力のテクニックをマスターしよう!!)

基本操作がわかったところで，１音ずつ細かい部分を指定しながら作曲する方法，〝グラフ入力モード〟をマスターしましょう。

(グラフ入力モード)

グラフ入力モードでの作曲は，メロディーグラフに１音ずつメロディーを書いていくやり方で行います。グラフ入力モードへの切りかえは，エンピツのマークのグラフ入力スイッチに ☜ を移動し，Ⓐボタンを押して行います。すると，メロディーグラフにエンピツが表示されグラフ入力モードに切りかわりましたね。このエンピツでグラフを書いていきましょう。



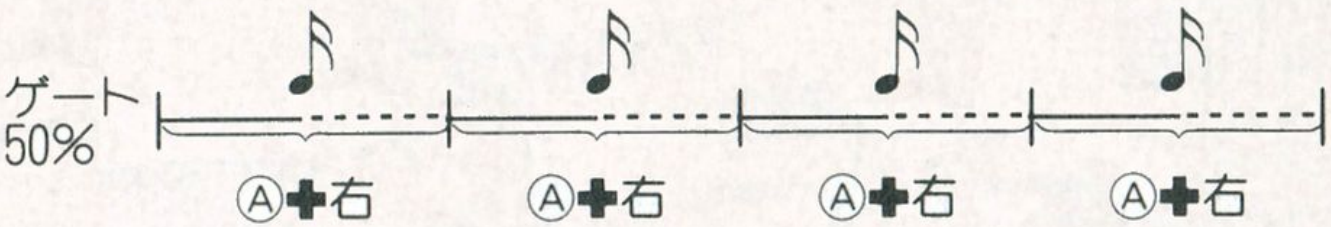
(グラフの書き方)

エンピツは，✚ボタンで移動し，Ⓐボタンで音が書け，Ⓑボタンで音を消すことができます。Ⓐボタン，Ⓑボタンを押すごとに書いたり消したりする音の長さは，音長スイッチで設定された長さになりますが，Ⓐボタンで音を書く場合は，１回押すと設定した音長の50%だけ音が出て，２回押すと100%音が出ます。(ゲート機能)

書き方

音長スイッチが♪の場合

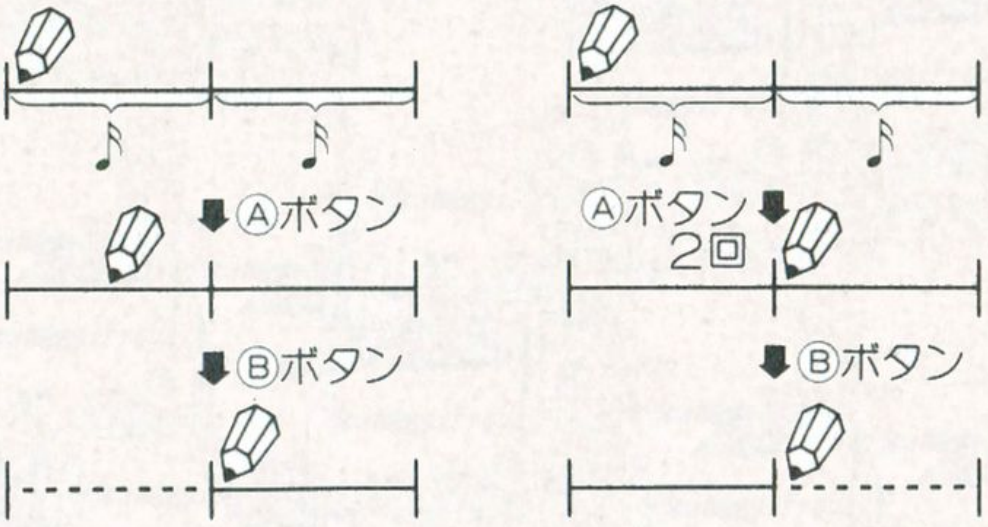
♪が４音つながっているので同じ高さの音であれば，♩１音と同じ様に聞こえる。



同じ高さの音で，１音ずつつながって聞こえないようにするにはゲード50%にする。このゲート機能をうまく使うと，能率的にメロディーを書くことができます。

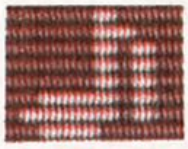
消し方

音長スイッチが♪の場合



(音長スイッチの設定)

長い音を書いたり消したりするのに，いつも16分音符単位でやっていては能率が悪いので，音長スイッチで音の長さの設定を変えてみましょう。セレクト ボタンを押すとグラフ入力モードからぬけて，☜ が出るので，☜ を音長スイッチに移動しⒶまたはⒷボタンで切りかえていきます。音長は5種類に切りかえることができます。


音長スイッチ

Ⓑボタン←　　→Ⓐボタン

16分音符　8分音符　4分音符　2分音符　全音符

(グラフのスクロール)

メロディーグラフをスクロールするには，グラフの右端または左端にエンピツを移動し，✚ボタンの右または左を押します。高速スクロールさせる場合には，✚ボタン＋Ⓑボタンで行います。

(スケールスイッチ)

スケールスイッチを利用すると，作曲がグンと楽になります。スケールスイッチに ☜ を移動し，ⒶまたはⒷボタンを押すと4段階に切りかえることができます。

①→：リズムに合ったスケールの音しか入力できない。✚の上下＋Ⓐボタンで自由にメロディーを書いても，絶対に音程がはずれない。

②↗：Ⓐボタンを押し続けると，その間，リズムに合ったスケール上を順に上っていくメロディーが自動的に書ける。

③↘：Ⓐボタンを押し続けている間，リズムに合ったスケール上を順に下っていくメロディーが書ける。

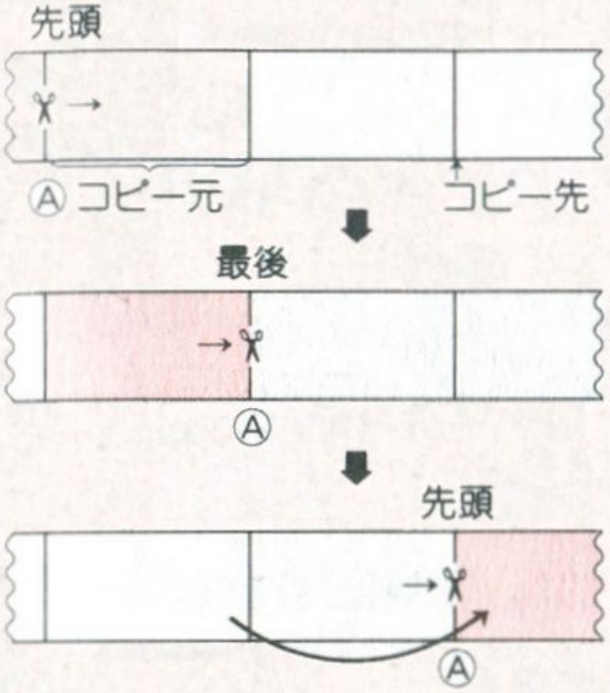
④C→：設定したリズムに関係なく全ての音程が入力可能。ただし，エンピツの色が赤のときは，リズムに合う音程で，緑のときは合わない音程。

(グラフのコピー)

曲のくり返しの部分を作ったり，グラフの一部の位置をずらしたい時には，コピー機能を利用します。☜をハサミのマークのコピースイッチに移動し，Ⓐボタンを押すと，グラフ上にハサミのマークが出ます。ハサミは✚ボタンで動かしますが，上下は3段階に動き，ハサミの位置によってコピーする内容がちがいます。(右の表参照)

- 上：コード欄のみ
- 中：コード+メロディーグラフ
- 下：メロディーグラフのみ

まずコピーする内容を上の3つから選んだら，次にコピー元の先頭と最後，それぞれの位置へハサミを移動しⒶボタンを押します。するとコピー元がアミ目でおおわれるので，最後にコピー先の先頭へハサミを移動し，Ⓐボタンを押します。これでコピー完了です。



コピー機能を中止したい時は(セレクト)ボタンを押してください。

作曲講座★上級編★　コード入力モード

(上級テクニックに挑戦!!)

メロディーの入力方法をマスターしたら，いよいよ伴奏も自分で作ってしまうテクニックに挑戦！伴奏のコード進行を自分の好きなように入力できれば，大好きな曲を演奏することも，プロ顔負けの曲を作ることも可能!!

(コード入力モード)

メロディーグラフの上段のコード欄の左端へ ☜ を移動し，Ⓐボタンを押すと，コード入力モードに切りかわり，グラフ部分にコードパレットが表示されます。

●コードパレット

C	C♯	D	D♯	E	F	F♯
G	G♯	A	A♯	B	C▲	STP
M	m	7	M7	dim	SUS4	!
M−	m−	*	X	Lop	◁	▷

：ルート
：タイプ
：特殊語号
：移動キー

コードの設定は，ルート＋タイプで行い，１拍ごとに指定します。さらにコード欄には，特殊記号を指定することもできます。

(コード設定方法)

まず，☜をコードを設定したい拍に移動します。Ⓑボタン＋✚ボタンの左右で移動します。次に，コードパレット上の●を✚ボタンで移動し，Ⓐボタンを押すと，☜のある拍にコードが設定されます。

●ルート …… C～C▲(C▲はCの1オクターブ上)

●タイプ(…… 初期設定はメジャーで，無表示)

M：メジャー	M7：メジャーセブンス
m：マイナー	dim：ディミニッシュ
7：セブンス	SUS4：サスペンデッド4

●特殊記号

STP：ストップ。曲の終了。

LOP：ループ。曲の先頭からLOPを設定した直前の拍までをくり返し演奏。

＊：伴奏がドラムのみ。

×：伴奏なし。

！：ブレーク。拍の頭に伴奏がジャン！と鳴る。

M－：メジャーで伴奏が1拍分ジャーンとのびる。

m－：マイナーで伴奏が1拍分ジャーンとのびる。

コード入力モードを終わるには(セレクト)ボタンを押します。

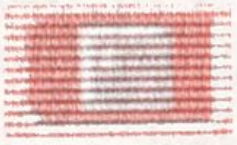
作曲に役立つ表示や機能

(コンポーザー画面の表示盤)

- 小節カウンター
  作曲・再生中の小節が何小節目なのかを表示。
- テープカウンター
  曲の最初から数えて何拍目かを表示。
- 五線譜表示盤
  テープレコーダーに ☜ を合わせⒶボタンを押すと五線譜に切りかわる。作曲・再生中の音の音程を表示。再びⒶボタンを押すとテープレコーダーにもどる。
- 音名表示盤
  作曲・再生中の音の音名をアルファベットで表示。
- 現在位置表示盤
  作曲・再生中の拍が曲全体のどのあたりなのかを表示。

(メニュー画面への切りかえ)

作曲を終了する時は，メニュースイッチに ☜ を移動し，Ⓐボタンを押すと，画面は，メニュー画面へ切りかわります。

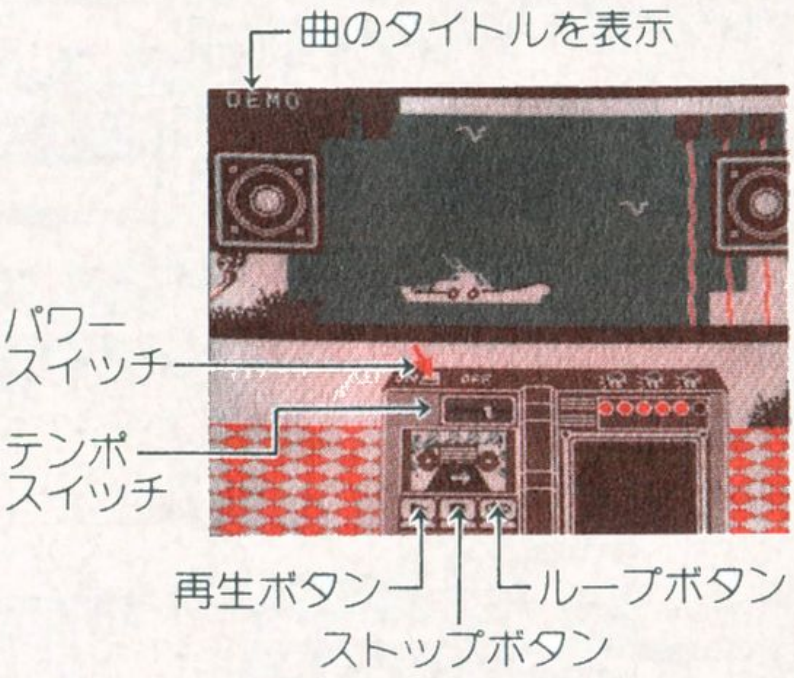


メニュースイッチ

グラフィック・プレイヤーで楽しもう！

（キミが作曲したサウンドがシーサイドカフェに流れる!!）

メニュー画面で，２.GRAPHIC PLAYERを選ぶと，画面は海辺のカフェテラス「マリンスクエア」に切りかわります。曲の再生・演奏のストップ・ループ再生は，画面上のラジカセの各スイッチに，✚ボタンで↘を移動し，Ⓐボタンを押して行います。再生時のテンポの調整は，テンポスイッチを✚ボタンの左右で動かして行います。



（グラフィックプレイヤーモードの終了）

ラジカセのパワースイッチに↘を移動し，Ⓐボタンを押すとしばらくしてメニュー画面にもどります。

曲のセーブ／ロード

(曲のセーブ)

せっかく苦労して作ったオリジナル・サウンドだから，しっかりとディスクカードにセーブしておきましょう！

作曲ができたら，メニュー画面で，４.SAVEを選んで，曲をセーブしましょう。ディスクには，最大6曲までセーブすることができます。１～6の空いている番号または，消してもよい番号に✚ボタンで ☜ を移動し，Ⓐボタンを押して，セーブする番号を決定します。すると，選ばれた番号に＊が表示されるので，セーブする曲名(8文字以内)を入力します。曲名の入力は，１文字ずつ画面下の文字の中から✚ボタンで選び，Ⓐボタンで入力していきます。曲名入力時に ☜ を左右に動かすときには，〝モドル〟，〝ススム〟、曲名入力を中止したいときは〝トリヤメ〟を選んでください。

曲名を入れ終わったら，〝セーブ〟を選ぶと，曲のデータがディスクに記録されます。

(セーブの終了)

メニュー画面へもどりはいときは，セレクトボタンを押してください。

(曲のロード)

ディスクカードにセーブしておいたオリジナル・サウンドは，いつでもロードして再生して楽しめます。

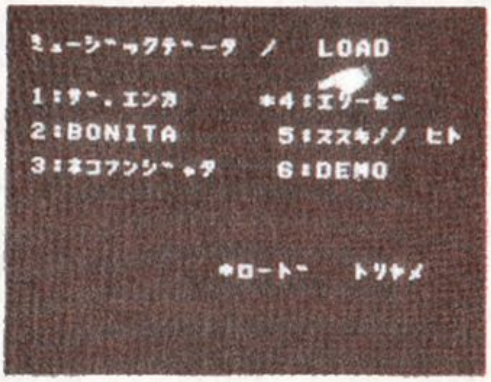
セーブした曲のロードは，メニュー画面で３.LOADを選び，ロード画面に切りかえて行います。

１～６の中でロードしたい曲の番号に✚ボタンで☜を動かし，Ⓐボタンを押して曲を決定します。すると選ばれた番号に＊が表示されるので〝ロード〟を選びます。

まちがえて曲を選んだ時には〝トリヤメ〟を選べば，＊は消えます。

(ロードの終了)

メニュー画面にもどるには，セレクトボタンを押してください。



特別実践講座「ねこふんじゃった変奏曲」

(上級テクニックをマスターする早道はこれ!!)

伴奏もメロディーも自分で入力する上級テクニックをマスターするために，かんたんな曲を題材にトライしてみましょう！

(「ねこふんじゃった変奏曲」)

まずメロディーから入力しましょう。

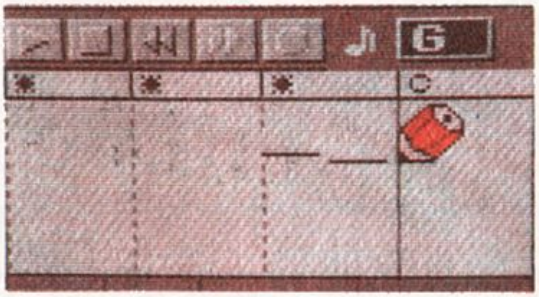
①リズム画面で，"ROCK1" を選ぶ。

②コンポーザー画面でテープレコーダーを五線譜表示に切りかえ，スケールスイッチを$\overset{C}{\rightarrow}$に，音長スイッチを8分音符 "♪" に切りかえる。

③グラフ入力スイッチに ☜ を移動しⒶボタンを押す。

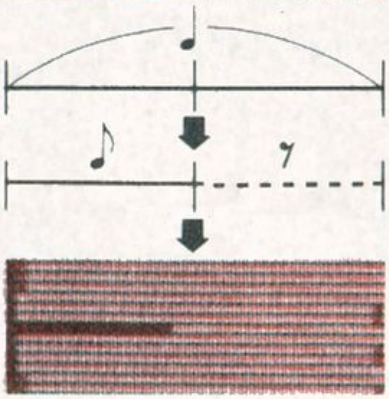
④エンピツを１小節目の４拍目に✚右で移動。

⑤✚の上下でエンピツをラ(A)の位置に移動しⒶボタン。



⑥✚右を１回押し✚下を２回押してソ(G)の音にエンピツを移動してⒶボタン。

⑦楽譜で4分音符の所は，8分音符＋8分休符にして，続きを入力。



⑧9小節目の3拍目まで入れ終ったらグラフ入力モードをぬけ，伴奏パートスイッチを全てＯＦＦにし，(スタート)ボタンを押して聴きましょう。ＯＫなら再生をストップ。

⑨ ☜ をコード欄に移動しⒶボタンを押す。

⑩コードパレットで＊を選び，１小節目の＊４つを入力。

⑪2小節目以降はすべてメジャーなのでルート(CかG)だけを選んで入力していけばよい。

⑫最後の"ＳＴＰ"を入れたら，(セレクト)ボタンを押す。

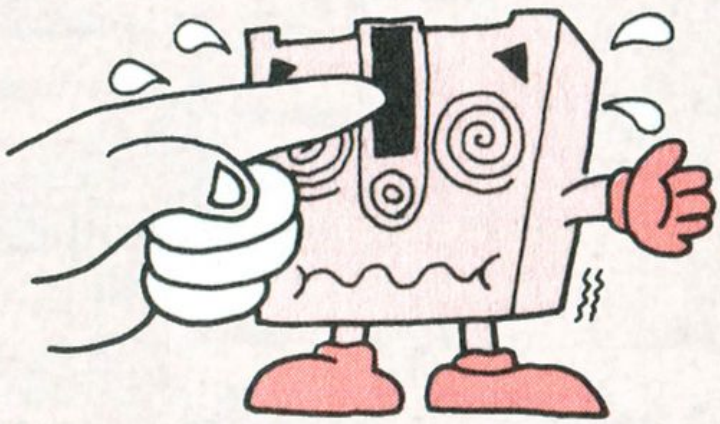
⑬伴奏パートスイッチを全てＯＮにして曲を再生！

⑭まちがいがなければ出来上り！サウンド表示やリズム表示をいろいろ変えて，楽しんでみましょう。

これだけは覚えてほしい注意事項

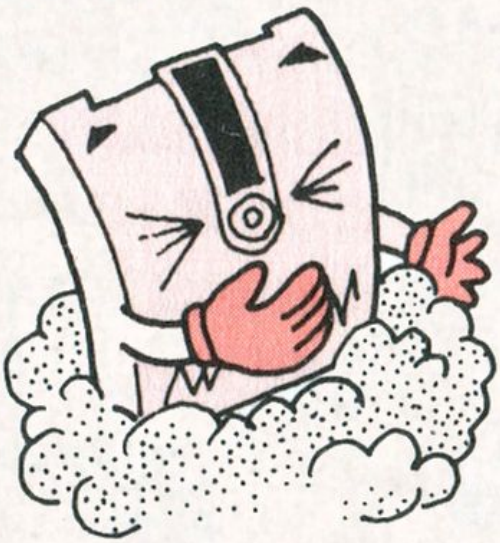
ディスクカードは，カセットよりもデリケート。注意をよく読んで楽しんでネ！

ディスクカードは大切に取り扱おう！

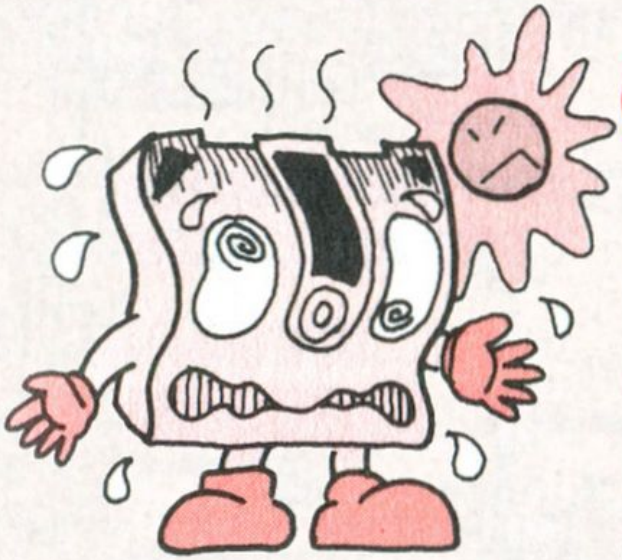


ディスクカードの窓から見える茶色の磁気フィルムの部分には，ぜったいに指などで触れないでね！　汚したり，傷つけたりすると，ゲームができなくなるぞ。

ホコリが大きらい！



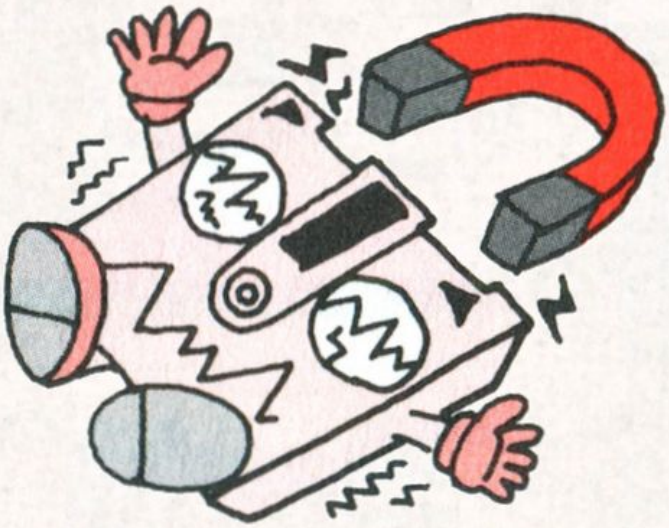
ディスクカードは，ゴミゴミしたホコリっぽい所は，大きらい！　ホコリは，ディスクカードの大敵なんだ。いつも，プラスチックケースの中にしまうようにしよう。



暑さによわい！

ディスクカードは湿気や暑さが苦手。涼しくて風通しのよい場所に保管しよう。直射日光にもあたらないようにしよう。暑い夏はとくに注意してね。

磁石にヨワーイ!?



磁石を近づけると，プログラムや君が作曲した曲のゲータがいっしゅんのうちに消えちゃうんだ。ぜったいに磁石の近くに置かないようにね。テレビやラジオにも磁力があるから，近づけないでね。

ディスクドライブの赤ランプがついている時は，EJECTボタンを押したり，本体の電源やRESETスイッチに手を触れちゃダメ。大きな衝撃も与えないように注意しようね。

ディスクシステムが正常に作動しなくなった時には…

ディスクシステムが正常に作動しなくなった時には，画面に異常を知らせるエラーメッセージが表示されます。下の表を参考にして原因を調べてください。

エラーメッセージ	内容と対処方法
DISK SET ERR.01	ディスクカードが正しくセットされていません。
BATTERY ERR.02	ディスクドライブの電圧が規定値以下です。乾電池を新しいものに交換してください。
ERR.03	ディスクカードのツメが折れています。他のカードを使うか，ツメの所にテープをはってください。
ERR.04	違ったメーカーのディスクがセットされています。
ERR.05	違ったゲーム名のディスクがセットされています。
ERR.06	違ったバージョンのディスクがセットされています。
A, B SIDE ERR.07	ディスクカードの表と裏が逆にセットされています。
ERR.08	違った順番のディスクがセットされています。
ERR.20～	ディスクカードを買ったお店か，発売元へ相談してください。

ゲームの内容などについての電話でのお問い合わせには，
一切お答えできませんので，ご了承下さい。

1987年10月初版

DISK SYSTEM
ファミリー コンピュータ ディスク システム

ファミリーコンポーザー

東京書籍

発行　東京書籍株式会社
東京都文京区本駒込6-14-9
〒113　☎03-942-4138

©1987ミュージカルプラン
©1987東京書籍

ファミリー コンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。禁無断転載